

別記第2号様式（第3条関係）

視察概要書

1 視察日時 令和5年10月23日（月） 午後1時00分～午後2時30分

2 視察先 埼玉県越谷市議会
（住所：埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目
2-1）



3 調査事項 トイレトレーラーの導入について

4 視察先概要

(1) 挨拶 越谷市議会 議長 島田 玲子 氏

(2) 説明者 越谷市役所

危機管理室危機管理監 湊谷 達也 氏 ほか2名

(3) 視察先概要：越ヶ谷市

人口：343,644人（令和5年4月1日現在）

面積：60.24 km²

5 調査項目

(1) トイレトレーラーを導入するきっかけについて

(2) 車いす、目の不自由な方にも使える仕様について

(3) 雨天、曇天の時のソーラー発電による照明や換気扇の作動状況について

(4) トイレトレーラーの牽引について

(5) 汚水タンクの容量について

- (6) イベント等の設置中に、当該イベントの途中で汚水タンクが満杯になった場合の対応について
- (7) トイレトレーラーの汚水を公共污水管に接続して処理することについて
- (8) トイレトレーラーの今までの使用例について、災害時やイベント時以外にどのような場面で使用されているかについて
- (9) 総事業費 20,150 千円の内訳について
- (10) 緊急減災・防災事業債の利用が可能とのことだが、事業債を活用したのか、また、活用した場合、自治体負担分の 30%については単費としたのかについて

6 視察の目的：一級河川である遠賀川に二分される本市において、トイレトレーラーを導入することで大規模災害時に多くの人が集まる避難所においてトイレ不足の解消ができることや、搭載されたソーラーパネルによって停電時対応も行えることから災害時において非常に有用なものであるため、先進事例である越谷市を調査・研究するもの。

7 施策等の概要：越谷市では、全国で 20 自治体しか導入事例のないトイレトレーラーを令和 3 年度に埼玉県で初導入している。トイレトレーラーは 4 基の洋式トイレを備えた牽引車で牽引する移動式のトイレであり、災害時においては、機動性及び即応性に優れており、現状の仮設トイレと比較しても清潔かつ快適に避難者が利用できる。



トイレトレーラー前にて

8 主な質疑応答

Q 1 トイレトレーラーを平常時の貸し出しとしてイチゴ農園に5ヶ月間貸し出した際の費用はいくらか。

A 1 11ヶ月、5万円で貸し出しを行っている。

Q 2 将来的に車いすにも対応できるよう改修を行う予定はあるか。

A 2 今回は1台目ということで、通常の仕様にしておりますが、2台目以降を導入する際にはバリアフリーの仕様も考えている。

Q 3 トイレトレーラーのてすりが右側しかついていないが、左側に手すりをつけることは可能か。

A 3 ドアの開閉ができなくなるため、つけることはできない。

Q 4 実際の災害や避難時に利用された実績はあるか。

A 4 災害時の活用については、他市の派遣も含めまだ実績がない。

Q 5 災害時以外での活用方法については、イベント団体や農園さんへの貸し出しというような形で活用されているのか。

A 5 イベントや啓発活動、そして運動会等で活用している。

Q 6 手を洗ったりするきれいな水については、浄水の方から直接引き入れることは可能か。

A 6 水道に直接つないで給水を行うなど方法はいくつもあり、可能である。

Q 7 牽引車は3トン車ということだが、それは消防車両か。また、3トン車以上でなければこのトイレトレーラーは牽引できないのか。

A 7 消防車両ではなく、ダンプトラックである。ワンボックスカーでも四駆でないといけない等の制限があるが、詳細は業者に確認していただきたい。

9 考察

ア 現状や事業効果

- トイレトレーラーの利用者状況
713人（令和3年度）
- トイレトレーラーの保有台数
1台
- トイレトレーラーにかかる費用一覧

項目	金額
トイレトレーラー本体 （トイレ4室、殺菌灯、ソーラー発電システム、 スタッドレスタイヤ、タンク用ヒーター等）	19,539,470円
けん引装置購入 （3トンダンプ車に取り付け）	581,900円
重量税	32,800円
自賠責保険	5,250円
任意保険	47,544円
汲み取り手数料（8,800円×5回）	44,000円
けん引免許取得（職員用）（168,300円×2人分）	336,600円
車検（初回2年、以降1年）	64,000円

埼玉県越谷市では、過去の災害において、避難所におけるトイレは衛生面や健康面での二次的な被害が発生するなど多くの課題があると考え、災害時にも安心して快適にトイレを使用できる環境づくりは大変重要であると認識している。そのため越谷市では災害に備え、備蓄計画に基づき災害用トイレの整備を進めているが、トイレトレーラーは機動性と即応性に優れており、さらには現状の仮設トイレと比較して清潔であり、避難者に快適なトイレを提供することができると考え導入した。

トイレトレーラーの特徴は3つあり、1つ目は快適に使えること。4つの

広々として個室に洋式便座を配置し、換気扇や清掃用の排水口も整備され、長期の使用でも衛生状態を維持できる。2つ目はすぐに使えること。車体を牽引するだけで、少ない人手で使用場所への移動が可能であり、被災直後の断水下でもすぐに使用が可能。3つ目は長く使えること。衛生環境維持に配慮した各種機能だけでなく、外部電源との接続やソーラーパネルからの太陽光充電機能により、数ヶ月に及ぶ避難生活でも使用が可能となる。

越谷市が被災した際には、移動が容易であり、ライフラインの状況に左右されないことから、各避難所における施設の被害状況や受入人数等を踏まえ、柔軟に対応することが可能であるとのことであった。

●今後の課題

大規模災害時については被災地への派遣や市内での活用が想定されているが、平常時の活用方法について検討する必要がある。現在は、主に市主催のイベントや各地区でのイベント等での活用を考えているが、その他の利用方法についても検討する余地がある。また、牽引免許取得者は現在4名と少なく、移動が可能な職員数が圧倒的に少なく緊急時や派遣時の対応の困難さが想定される。また、質問項目でもあった車イスの方への対応については、トイレトレーラーの改修を行えば対応は可能であるものの、現状ではバリアフリー対応ができていない。

イ 本市に導入できることや検討

遠賀川に二分され、水害が懸念される本市においては、トイレトレーラーを導入することで大規模災害時に多くの人が集まる避難所でトイレ不足の解消ができることや、衛生面での課題解決、そして災害が長期化した場合、搭載されたソーラーパネルによって充電を行うなど避難所の生活にも活用できることから、災害時において非常に有用なものだと考えられる。また、トイレトレーラーは平常時においてもイベント会場等に設置することで補助トイレとしても活用が期待できる。

ウ 本市に導入した場合の課題

本市においての課題として、越谷市同様に平常時の活用方法が挙げられる。本市では大規模なイベント等が多くなく、大規模な農園等もないため、運動会等の小規模イベントへの貸し出し等に限られる。災害時には有効であるが、平常時の利用方法も検討が必要である。また、3トン車以上しか牽引ができない点についても、牽引する車両の不足及び牽引免許取得者が限られている等の課題が考えられる。



現地でトイレトレーラーの説明を受ける様子



越谷市役所前